



## ～目次～

1. 災害支援活動協力員募集と寄付金のお願い
2. 今後の会議・報告会の予定
3. 石巻・現地情報
4. 石巻・現地報告
5. 事務ボランティアのつぶやき

## < 1. 災害支援活動協力員募集と寄付金のお願い >

### ① ボランティア登録人数 (6月20日(月) 現在)

- ・ 現地支援活動協力員 : 134 名
- ・ 事務所支援活動協力員 : 81 名 の登録を頂いております

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

日本医療社会福祉協会 災害対策本部 (03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp) 平日・土・祝 10～17時

※メールでのご連絡の際は、件名に「(現地) または (事務所) 災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。

### ② 現地支援活動について

宮城県石巻市の避難所「遊楽館」へ、1日4～5名を目標に派遣を行っています。

- ・ ご自分で車の手配(自家用車・レンタカーなどを手配し、運転出来ること)の出来る方、
- ・ 引き継ぎ等の関係により、前後の移動日を含めず、中3日以上活動出来る方が理想です。

### ③ 事務所支援活動について

活動日程 : 月～土、祝日 の 10時～17時 ※半日での参加も可能です

活動内容 : 主に現地支援活動協力員の派遣調整、現地とのやりとり、電話・メール対応、事務処理が中心です  
1日4名を目標にご参加頂いております。

財政的に厳しい状況が続いているため、できるだけ事務所に来やすい方を希望します。事務所協力員に関しては交通費1200円上限と当面させていただきます。多数ご協力をお願いします。

### ④ 【寄付金の振込口座：郵便振込口座】

資金が底をつきつつあります。助成金にも応募していますが皆様の更なる協力をお願い申し上げます。

口座名義 : 日本MSW協会災害支援金

口座番号 : 00100-1-89515

支店名 : 〇一九 (ゼロイチキユウ) 店 (019)

口座種別 : 当座

※他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別:当座預金 支店:0一九(読み方:ゼロいちきゅう)店  
口座番号:89515

備考:・お振り込みいただく金額に制限はございません。  
・ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。  
・お振込手数料は、各自でご負担ください。  
・ご協力いただきました寄付の用途については、理事会(2011年3月27日開催)において当協会の行う東日本大震災 災害救援活動に使うことと決定いたしました。

## < 2. 今後の会議・報告会の予定 >

### ●災害支援対策会議・報告会

日時 : 2011年7月20日(水) 19時~21時  
場所 : 日本医療社会福祉協会 会議室  
申込み : 不要(直接会場へお越し下さい)

議事録をご希望の方は、災害対策メールでお申込みください。

5月まで行っていましたが、現地ボランティア活動報告会及び事務所ボランティアオリエンテーションですが、6月20日に合同で開催し、7月以降も合同で開催する運びとなりました。

## < 3. 石巻・現地情報 >

詳細は協会ホームページ内『[現地ボランティア応募フォーマットファイル](#)』を

ご覧ください ([http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img\\_Doc/1\\_Img\\_Doc.doc](http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img_Doc/1_Img_Doc.doc))

### ① 「遊楽館」での活動内容 ※内容は状況により変動します

- ・新規入所者からの情報収集
- ・個別ニーズに対するケースワーク（地元のSWとの協働）
- ・退所を含めた今後の生活再建に対する支援

※その他、遊楽館で活動するスタッフとのカンファレンス、行政との打ち合わせなどあり。また一般避難所に訪問し、各種手続きの案内と申請支援、福祉的避難所対象者の「遊楽館」入所相談などもあり。

宮城県医療社会事業協会との協力体制も強化しながら支援を行っています。

### ② 宿泊場所

5月23日より、2LDKのマンションを宿泊場所として使用開始しました。

- \* JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分
- \* 駐車場1台（原則移動車1台以外は、遊楽館に駐車となります）
- \* 布団はありますが、シーツ・枕カバー、タオルなどはご持参下さい。

#### マンションでの生活用品の寄附を募集中！

現在不足しているのは、スリッパ、家電（冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・テレビ・ポット）等です。

詳しくは災害対策本部までお問い合わせください。

### ③ 現地移動車両

このたび中古車販売のガリバーインターナショナル社のご厚意により、当会へ半年間自動車を1台貸与していただくことになりました（保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています）。6月20日に仙台泉店より引き取り、既に石巻に移送が完了しております。今後は現地ボランティアの皆様の足としてアパートと遊楽館との往復、支援活動にご利用いただけます。詳細とお願いは、次の通りです。

- ・車種 トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501ち 3967」 銀色
- ・利用される場合には、安全運転はもちろんですが、車の調子の確認、ガソリンの補給（給油したら協会に請求してください）、および鍵の管理をお願いします。
- ・駐車違反・盗難等に注意してください。

## < 4. 石巻の現地支援活動報告 >

① 萩原 有美 氏（同志社大学大学院生）

期間：6月5日～6月10日

まず、石巻市「遊楽館」での日本医療社会福祉協会ボランティア活動に携わっておられるすべての方に心からの感謝と敬意をお伝えいたします。正直申し上げまして、現地に赴くまで私は、この活動がどれだけ多くの協会の支えにより継続・発展してきたのかを理解しておりませんでした。稚拙な報告ではありますが、今もなお、一人でも多くの方の協力を必要としている現状であることをお伝えできましたら幸いです。

御周知のとおり、福祉避難所「遊楽館」の避難者の多くは、医療・介護を要する高齢者です。一般避難所と比較すると、空間的にも余裕があり、また石巻市立病院のスタッフ、社協ボランティアなども常駐しており、手厚い体制と言えるようです。しかし、その分、震災から三カ月が経過し、避難者が施設化し、本来ならば自分でできることさえ、人の力を必要とする「依存・要求型」の雰囲気となっております。と、申しましても私は以前の状況を知りませんので、現地責任者でいらっしゃる草水さんにそのことを教えて頂き、状況を理解致しました。そしてボランティアがすることと、取って代われないことの見極めが難しいと感じました。特に、「何か力になりたい！」と意気込み、現地に赴くボランティアは、その点でまず、冷静に状況を捉えることが大切であると知りました。

また6月に入り、仮設住宅に当選される方が少しずつ増えてきているようです。しかし、仮設住宅のお風呂は、入口に段差がある、手すりがないなどの理由で利用できないため、デイサービスの調整をするなど、地域での生活を支える資源調整が重要な課題となっていました。これまでの、三カ月はまず生命の安全、最低限衛生的な衣食住の確保といった、医学・看護的な管理や各種手続き等のケースワークが中心であったと想像します。しかし、避難所を閉鎖し、地域での生活支援を進めるために、現時点からは、よりメゾ・

マクロなレベルの支援が必要であると知りました。「被災者、避難者、患者」の私から、継続してそうである部分はありますが、「住民」の私に、皆さんが戻りつつある過渡期であると感じました。そのようなタイミングにおいて、隣近所との関係の中で、自ら問題に向き合う力を取り戻して頂き、孤立しない地域生活を支える仕組みを創るため、ソーシャルワークのすべてを動員する必要があると痛感しました。

現地滞在中は、微力ながら自分の最善を尽くさなければならいと、高い緊張感のなかにおりました。しかし、古川駅から帰路の新幹線に乗った途端、理由のわからない涙がとめどなく溢れてきました。冷静に気持ちを整理できるまでに数日を要しました。人間の想像をはるかに超える災害に遭遇した土地と人に触れ、私は言葉を失いました。また、限られた期間と自分の能力のなかで、対応できる業務の限界を知り、激しい不全感と虚無感を覚えました。それでも、現地に赴くことができたことに感謝しております。なぜなら、その場所に行かなければ分からない、その人に会わなければ分からないことがある。そこからソーシャルワークは始まるのだ、と身を持って実感できたからです。

今後もこのボランティア活動は一人でも多くの方の力を必要としています。一部の方に、業務の負担や責任が集中することのないように、一人一人にできることを改めて共に考えてまいりたいと思います。協会に所属することの大きな力は、そこに仲間がいることだと知りました。それと同時に、そこには、互いを支え合う責任が伴うことも知りました。それぞれが、今いる場所で、改めて被災地と協会の活動そして自身にできることが何か、思いを巡らせてゆきたいと思いません。

## < 5. 事務所支援活動協力員のつぶやき（ひとこと感想文集） >

6月10日（金）

遠藤（たいとう診療所）

本日初めて事務所ボランティアに参加いたしました。現地に行くことはなかなか難しいのですが、今後も事務所の方で少しでもお手伝いできればと思います。

坂原（聖ヶ丘病院）

本日初めて事務所ボランティアに参加いたしました。災害支援は長期にわたるものになると思われ、今後も自分にできることを協力していきたいと思います。

茂田（文京学院大学大学院）

2週間ぶりのボランティアとなっていました。状況はかなり変化しておりましたが、1つ1つやるべきことをしていくだけ！が、光につながると思いました。みなさんお忙しい中、本当にありがとうございます。

6月11日（土）

沼知（初台リハビリテーション病院）

今日は4回目でしたが、まだまだ分からないことばかりで、みなさんと協力しながらマニュアルとにらめっこしながらといった感じでした。本当にできることをやる！！という感じでした。お疲れ様でした。

村上（牧田総合病院）

今日は1か月ぶり、3回目でした。いろいろなマニュアルやフォーマットが出来ていて、皆さんの努力の賜物！！本当にご苦労様です。平日はなかなか難しいのですが、今後もできる限り協力させて頂きたいと思えます。

天野（トヨタ記念病院）

マニュアルがしっかりできていて、活動しやすかったです。事務所ボランティアが少ないのが気掛かりでした。

6月13日（月）

東（初台リハビリテーション病院）

1人だったので、どこから手をつけていいのか…という状況でした。事務所ボランティアがいない日が今後多くなるのは本当に心配です（今日もPMは不在のため、後ろ髪をひかれる思いです。

武山（都協会）

荒木町ウィズ新宿で仕事 12-1、16時～手伝えます。15日もdo(PM宿題メールあちこちしてみます)事務所ボラ、現地ボラ、都協会ニュースに載せます。コーポ古川用品も募集しましょう。

6月14日（火）

白石（横浜第一病院）

午後から一人となり、心細い状況でした。2-3人体制になると安心ですね。日々変化する情報整理について行けない状況でした。

6月15日（水）

清水（初台リハビリテーション病院）

AM一人、PM不在(武山さん 16:00～?)という一日で、問い合わせもいくつかあり、バタバタしました。一人でこなすのは大変?!でした。お疲れ様です。

武山（都協会）

状況がわからず返答できないのが1件、他未処理1件です。下着・くつ下など持参しました。送れます?ボランティア募集に少しずつ反応も!

6月16日（木）

左右田（初台リハビリテーション病院）

現地のマニュアル更新チェックの依頼がありました。どなたに判断を仰げばいいのか、20日の会議で細かいところを確認してもらえると有り難いです。AMのみで対応が十分できず、申し訳ありません。

吉成（長沼クリニック）

12時に来ました、午後2名です。あっという間に17時過ぎ…。継続は力といいますが、中々大変ですね。もっともっとニューパワーが必要では?

高橋（さいたまホームクリニック）

問い合わせ等に対応し、あっという間に1日が終わりました。今月は週1回入らせて頂いていますが、日々状況が変わっているので、1つ1つ確認しながら…ですね。お疲れ様です。

6月17日（金）

長谷川（自宅会員）

本日初参加です。笹川さんに付きっきりで教えていただいたので、安心して一日を終えることができました。TV やネットでは知ることのできない個人個人の思い、活動に触れることができよかったです。今後もお力になれば…と思います。

笹川（初台リハビリテーション病院）

少し来ないと状況がとても変わっており…catch upするのが大変でした。現地ボラの報告書やメールを見ると、現地はまだまだ混沌としていてサポートが必要な状況なのだと感じます。遠方からですが少しでも力になれば…（慣れているのかな？）今日一日長谷川さんと一緒にとても心強かったです。ありがとうございました。

6月18日（土）

藤田（白鷺病院）

一月半振りに来たら、マニュアルが整備されてビックリ！！でもお蔭でスムーズに動けるようになりました。有難うございます。